

指導のねらい

伝えたい内容を効果的に相手に伝えるための表現の仕方についてとらえることができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

A ③ ー 演説の話し方の特徴として適切なものを選択する。 正答率59.7% (※本パンフレットにおける正答率は、抽出調査のため推計値であり、誤差±0.2%程度の精度となっています。)

学習指導要領における領域・内容

〔第2学年及び第3学年〕 A 話すこと・聞くこと

ウ 話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりすること。

授業アイデア例

学習の流れ

話をするときには、内容を分かりやすく伝えるために様々な工夫をすることが大切でしたね。今日は、その中から、話の組立ての工夫に注意してみましょう。



- ① スピーチの学習をする際、聞き手が「内容に注意して聞き取る役割」と「話の組立てに注意して聞き取る役割」とに分かれ、それぞれメモをとりながら聞く。



学校図書館の利用者を増やすには、全校生徒が本を読みたくなる工夫をする必要があります。そのために、私が考えたアイデアを二つ話します。

一つめは、「学校図書館に入れてほしい本のアンケートをとること」です。

二つめは、「図書便りでおすすめの本を紹介すること」です。

そうすれば学校図書館に興味をもってくれる人が少しずつ増えると思います。

〈内容に注意して聞き取る役割〉



(例)

- メモ ■
- 二つのアイデア
 - ① アンケートをとる
 - ② おすすめの本を紹介する
 - ↓
 - 興味をもつ人が増える

〈話の組立てに注意して聞き取る役割〉



(例)

- メモ ■
- 最初に、何について話すのかを明確に示している。
 - 「一つめ」、「二つめ」のように項目立てて話している。

- ② スピーチが終わったあと、メモの内容を発表する。

- ③ 次の人のスピーチでは、役割を交代して聞く。

留意点

- 話の組立ての工夫と内容の分かりやすさとは関連があることについて確認することが大切である。